



# 月信

## GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2026 **7** 月号

CREATE LASTING IMPACT

持続可能なインパクトを生み出そう

目次

7月は、母子の健康月間です。

RI会長メッセージ .....	3	公式訪問に関するお願い .....	25
ガバナーメッセージ .....	8	地区組織図 .....	26
2026-2027年次目標 .....	10	地区資金予算書 .....	28
地区幹事・地区会計長あいさつ .....	14	基金及び協力金予算書 .....	30
特別月間・「母子の健康月間に寄せて」 .....	15	送金カレンダー .....	31
ガバナー補佐・クラブ会長・幹事紹介 .....	16	地区年間予定表 .....	32
RAC・衛星クラブ .....	24	ガバナー事務所・編集後記 .....	33

題字・表紙写真

作者紹介	飯野農夫也 (いいの のぶや) (1913-2006)
1913年	下館市上平塚に生まれる
1931年	真岡中学校卒業後、上京。 プロレタリア美術研究所で学ぶ。 その後、版画を始める。
1977年	下妻市で個展。NHK美術館 「私とミレー」出演
1988年	茨城県近代美術館 「現代茨城の美術展」出品
1995年	下館市主催 「画業65周年 飯野農夫也画業展」
1997年	銀座秀朋画廊にて個展
2001年	長野県北御牧村立梅野記念絵画館 「飯野農夫也と郷友展」
表紙	筑波初夏 (1972) 日動画廊・太陽展出品作
題字	林崇威 (りんすうい)



## R.I. 会長メッセージ

2026-2027年度  
国際ロータリー会長

**オラインカ・ハキーム・ババロラ**

(トランス・アマディRC：ナイジェリア)

### プロフィール

オラインカ・ハキーム・ババロラ  
トランス・アマディロータリークラブ  
ナイジェリア・リバース州

1988年に大学で工学の学位を取得。シェルPLCで要職を歴任するなど、石油・ガス業界で25年間勤務し、4大陸でプロジェクトを実施。リビエラ・テクニカル・サービソ社（石油・ガスインフラ供給会社）とリード・アンド・チェンジ・コンサルティング社（管理職コーチングと組織業績アドバイザーグループ）の2社を設立。

ババロラ氏が所属する専門職団体には、ナイジェリア技術者協会、ナイジェリア安全専門家協会、変革管理専門家協会などがある。経済・社会政策について政府に意見を提供する故郷イバダンの組織、「ジェリコ・ビジネスメン・クラブ」のメンバーとなっている。

ローターアクターとして10年間活動し、1994年からはトランス・アマディ・ロータリークラブの会員。2011-12年度に地区ガバナー、2018-20年度にRI理事、2019-20年度に副会長を務めた。2017-23年度にEnd Polio Now：歴史をつくるカウントダウンキャンペーン委員会（2017-20年度副委員長）、2013年～現在はナイジェリア・ポリオプラス委員会（2016年～現在アドバイザー）での役職を歴任。

妻ブレバさんと共にボートハーフコート市に在住。冠名基金とアーチ・クランフ・ソサエティを通じてロータリー財団を支援。シェルターボックスUKの評議員としてボランティア活動も行っている。ポリオのない世界のための地域奉仕賞、RI超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞。

親愛なるロータリーの友人とファミリーの皆さま、おはようございます！2026年国際協議会に皆さまを歓迎し、地区ガバナーエレクトとなられたことをお祝いできることを光栄に思います。

世界中からロータリーのシニアリーダー、スタッフ、そして卓越した会員が集結し、皆さまが来年度に向けて準備を整えるお手伝いをいたします。また、この場を、ぜひ同期の仲間と交流を深める機会としてください。ロータリーの国際性を体験しなければ、会員としてのメリットを十分に享受しているとは言えません。今週、皆さまはロータリーの世界を体感することになります。

この機会を逃さないでください。たくさんの人と知り合い、友情を育みましょう。温かい言葉が、思いもよらないところへと皆さまを導くでしょう。

私が出会ったロータリー会員は、出身がどこであれ、親切で明るく、すぐに親友になれる人ばかりです。

私たちのもう一つの共通点は、ロータリーが私たちを変えたということです。私たちという人間を形づくり、より良い人間にしてくれたのです。変化はここから始まるのです——奉仕を受ける方々だけでなく、私たち自身の中からも。

私たちのビジョン声明を考えてみてください：「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

私たちは「世界を変える」ことをよく話題にします。ポリオ根絶や平和構築について語ります。

地域社会を変えることについて話します。そこには無数の素晴らしい実例があります。しかし、私はこう問います。「自分自身の中に持続可能な変化をどう生み出しているのだろうか」

ロータリー会員にこの質問をすると、たいてい場が静まり返ります。

その沈黙が物語るのは、ロータリーが自分自身をどう変えたかについて、私たちはあまり考えないということです。

ロータリーが・どのように私たちのキャリアを変えているか

・どのように私たちのビジネスを変えているか

・どのように私たちの家族を変えているか

それは最も暗い時代における光にもなります。米国ノースカロライナ州のキャリーキルデア・ロータリークラブ会員、ティア・コッパスさんにとってもそうでした。

2021年、ティアさんの夫は、19カ月に及ぶ闘病の末、癌で亡くなりました。夫の介護とCOVID-19のパンデミックによる隔離生活により、ティアさんは19カ月間、ほとんど誰とも会っていませんでした。

そんな時、ティアさんが所属するロータリークラブの親友が電話をかけてきてこう言いました。「来週木曜日の夕食会に来てください。あなたに会いたいです」

緊張と不安の中、ティアさんはロータリーの夕食会に足を踏み入れました。しかし、席に着く間もなく、初めて会う新会員が彼女を抱きしめ、こう言ってくれました。「来てくれて本当によかった！」

その瞬間、ティアさんは、自分が一人ではないこと、自分にはコミュニティがあることに気づきました。ロータリーこそ、彼女のコミュニティだったのです。

その夕食会の後、ティアさんはこの体験が自身に与えたインパクトについて、こうつぶやいています。「ロータリーは、あなたが最も必要とする時に、静かに、愛情をもってそばにいてくれるのです。普段は自分が“与える”側にいたとしても、“受ける”側になってもいいんだと教えてくれるのです」

そしてこう続けます。「ですから、つながりと奉仕、居場所を求めているなら、ロータリーがその答えとなるでしょう」。この言葉に共感できる方も多いと思います。

友人の皆さま、ロータリーは世界を変えるために活動していますが、ロータリーが自分自身をいかに変えたかを伝えることを恐れないうください。

経験から言えることですが、ロータリーは私を深く変えました。

私は十代でローターアクターとして活動を始めました。恵まれた環境で育ち、良い教育を受けましたが、そのような機会を得られない人は大勢いました。

気づきをもたらしたのは、クラブの識字プロジェクトでした。地域社会の人びとに読み書きを教える支援をしました。母国の同世代の人たちが読み書きのスキルを持たずに成長すべきではないと考えました。

このプロジェクトが私を変えました。その変化は、教育へのアクセスを拡大するという責任を伴うものでした。この取り組みは、今日において特に重要です。ユニセフの推計によると、教育資金の削減により、今年末までに世界で約600万人の子どもが退学を余儀なくされる可能性があります。この教育危機に対処するには、「寄付」から「奉仕」へと意識

を変える必要があります。

南アフリカのナイズナに素晴らしい事例があります。そこでは、ロータリークラブが教育分野で持続可能なインパクトを生み出しています。ナイズナ・ロータリークラブは2019年、地域のパートナーと協力し、2025年までに地域のすべての子どもが質の高い幼児教育を受けられるようにする方法を模索しました。地域社会からの協力も得て、問題の理解に努め、行動を起こしました。

その結果生まれたプロジェクトは、恵まれない地域の女性たちの力を解き放ち、幼児教育センターの開設と運営を実現させました。今日、このプロジェクトは何千もの子どもと家族を支援しています。今後も何世代にもわたり、教育を提供し続けるでしょう」

このインパクトを世界のほかの地域でも再現できれば、地域社会から信頼と評価を得ることができます。

そして、より多くの地域社会がロータリーを信頼すれば、入会したいという人が増えます。しかし、まずはそのような人びとを受け入れなければなりません。

当たり前のように聞こえるかもしれませんが、これは私たちが長年苦勞している課題です。若きローターアクターとしてロータリーに入会しようとした時、私は抵抗に遭いました。ある日、私はクラブの昼食例会に行きました。以前にも招待を受けて参加したことがありました。若いローターアクターだった私を見て、そのクラブの会長は「ここで何をしているんだ?」と言いました。

ロータリーに入会するためだと、私は答えました。会場にいた全員が振り向き、私を見ました。彼はこう言いました。「何という厚かましきだ！ただ入会できるわけがないだろう。招待が必要だ」と。

そこであきらめることもできましたが、私はこう言い返しました。「子どもが親の家に入るのに招待が必要だとは知りませんでした」

会場が沈黙に包まれる中、ソジ・フォウォデさんというロータリアンがこう声を上げました。「インカ、私が君を推薦するよ」

こうして私はロータリアンになったのです。

しかし、もしソジさんが声を上げてくれなかったら？私が会員になることはなく、今日こうして皆さまの前に立つこともなかったでしょう。

当時よりは良くなりましたが、一部のクラブは、世界をオープンに受け入れるどころか、今も閉ざされたままです。

若い人の意見が尊重されなかったり、考えや背景が異なる人が歓迎されなかったりすることがあります。このような状況では、入会する見込みのある人びとを入会前に失ってしまうことになるのです。

ロータリーにはもっと多くの会員が必要です。理事会は、2030年までにロータリアンを125万人、ローターアクターを12万5千人にするという会員増強目標を掲げています。この目標の達成は、私たち全員から始まります。

ですから、この国際協議会の開幕にあたり、皆さまには、人びとをどのように迎え入れるかを考えていただきたいと思います。例会や奉仕プロジェクトでの皆さまの態度ひとつで、誰かのロータリーのストーリーが始まるかもしれないし、終わるかもしれないのです。

これが、私たちが目標を達成する方法です。皆さまが地区の目標達成を導けば、ロータリー全体の目標を共に達成できます。しかし、地区の目標が何であれ、特に会員増強につい

ては、ご自分のベストを超えていただきたいと思います。

従来、最も多くの資金を集め、最も多くの会員を集め、最も大規模なプロジェクトを実施するクラブが称賛されてきました。

これは重要なことです。ただし、最も健全な競争は、クラブ間ではなく、過去と現在との間であるべきです。

過去5年～7年を振り返っていただくよう、それぞれの地区とクラブをお願いします。会員増加で最高を記録した年度はいつでしたか？ファンレイジングで最高を記録した年度はいつでしたか？最も大きなインパクトをもたらしたプロジェクトは何でしたか。

それらの年度がわかったら、その最高記録を超えていただきたいのです。

皆さまは、人生のうち1年間を地区ガバナーとして過ごします。皆さまがリーダーを務めるこの1年を振り返った時、人びとにどのような年度であったと言ってもらいたいですか？人びとがいかに多くのことを覚えているかに驚くでしょう。

最高だった年度の入会者が10名だったなら、少なくとも11名を目指すべきです。数年前に5万ドルを募金したなら、次年度は5万5千ドルを目指してみてください。ほかよりも優れていることを証明するためではなく、自分たちが最高の形になるためです。

こんな格言あります：

「グッド」から「ベター」、そして「ベスト」へ。

歩みを止めてはならない。

「グッド」が「ベター」になり、「ベター」が「ベスト」になるまでは。

この考え方は、クラブや地区に当てはまるのと同様、私たち自身にも当てはまります。

「変化」と「インパクト」を常に意識するマインドセットが必要です。

「変化」と「インパクト」は同じではないということを知っておくことが大切です。変化は始まりに過ぎません。インパクトこそが永続するのです。

ロータリーの大規模プログラム補助金による「健康な家族のための協力」が数年間実施されているナイジェリアでの事例を紹介します。

プログラム開始から間もない頃、私は試験的都市にある保健センターを訪問しました。自分の目で見たかったのです。

主任医師は、私がロータリー会員であるということだけ知っていました。

彼は私を温かく迎え、約18カ月前からロータリーと協力していること、協力の開始後間もなく乳児死亡率と妊産婦死亡率が急激に低下したことを話してくれました。

ロータリーが介入する前は、多くの女性が妊婦健診を避けていました。しかし、健診は母子ともに安全な出産に欠かせません。ロータリーの支援により、妊婦が健診に通うシステムが整い、地域社会からの協力も得られました。受診率がアップし、死亡率が下がりました。医師と話した後、私は、このプロジェクトが今後数十年にわたりナイジェリア全土で命を救い続けるであろうことを、はっきりと見ることができました。これこそが、私が「持続可能なインパクト」と呼ぶものです。

ロータリー会員である私たちは、より良い未来というビジョンを共有しています。それは、ポリオのない世界、平和な世界、誰もが質の高い教育を受けられる世界です。

そのビジョンを現実にするには、自身の内なる変化を意識し、解き放たなければなりません。「成果」だけでなく、「インパクト」を重視すべきです。

ティアさんがロータリークラブの夕食に招待されたことの「成果」は、彼女は孤独を感じ

なくなったことです。しかし、その「インパクト」は、彼女とクラブの仲間が生涯にわたって希望とコミュニティ意識を持ち続けることです。

ナイジェリアでの「健康な家族のための協力」の「成果」は、乳児と妊産婦死亡率の低下です。しかし、その「インパクト」は、今日だけでなく、世代を超えてずっと、子どもたちが母親の愛情と導きのもとで育つということです。

私たちは、2030年の会員増強目標を必ずや達成します。その達成による「成果」は、世界のロータリー会員が増えることであり、ロータリーがある場所では良いことが起こることを私たちは知っています。その「インパクト」は、今後も長年にわたり、より強くて効果的なロータリーが築かれることです。

友人の皆さま、その未来は私たちから始まります。しかし、それは私たちのロータリーでの活動が終わった後もずっと続かなければなりません。この理由により、2026-27年度の会長メッセージは「持続可能なインパクトを生み出そう」です。

持続可能なインパクトを生み出す方法は数多くあります。世界的には、ポリオ根絶という約束を果たすこと、そしてロータリー平和センターの恩恵を最大限に活かすことを意味します。クラブと地区では、より多くの人を迎え入れ、2030年会員増強目標の達成に向けて役目を果たすことを意味します。

そして皆さまは、人びとが好奇心を持ち、問いかけをし、ロータリーファミリーに与えられた無限の可能性を受け入れて自分自身の中に持続可能なインパクトを生み出せるよう、インスピレーションを与えることができます。

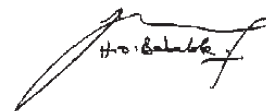
結果を出し、自分の中に持続可能なインパクトを生み出すことへの意欲をクラブと会員にどう喚起できるかを考えてください。

進歩は自ずと起きるものではありません。それ自身の内なる変化から始まります。

親愛なる地区ガバナーエレクトの皆さま、成功とは向こうからやって来るものではありません。自分でつかみに行かなければならないのです。

自分を変えられれば、クラブと地区を変えられます。地区を変えられれば、地域社会を変えられます。そして、地域社会を変えられれば、世界で、地域社会で、自分自身の中で、持続可能なインパクトを生み出すことができます。

朋友の皆さま、ありがとうございます。国際協議会へようこそ。



オラインカ・ハキーム・ババロラ  
2026-27年度会長  
国際ロータリー

2026-27年度国際ロータリー

オラインカ・ハキーム・ババロラ会長メッセージ

**持続可能なインパクトを生み出そう**  
**(CREATE LASTING IMPACT)**



## ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2820地区

2026-2027年度 ガバナー

**笠倉 勉**（しもだて紫水RC）

2026-2027年度、国際ロータリー第2820地区ガバナーを務めさせていただきます、しもだて紫水RCの笠倉 勉です。

2025年12月15日、ガバナーエレクト決定の通知を受け、本日こうして新たな年度を迎えるにあたり、その責務の重さに身の引き締まる思いであります。同時に、歴史と伝統ある第2820地区の皆様とともに歩めますことを、大変光栄に存じます。

国際ロータリーは、「奉仕を通じて親睦を深め、より良い社会を築く」という崇高な理念のもと、世界各地で尊い活動を続けてまいりました。社会情勢が大きく変化する現代において、ロータリーに寄せられる期待と役割は、ますます大きなものとなっております。

地域社会が抱える課題に真摯に向き合い、クラブの垣根を越えたつながりを育みながら、奉仕の精神を次世代へ継承していくことこそ、今を生きる私たちロータリアンに課せられた使命であると考えております。

本年度は運営面では、簡素化と効率化によるクラブの人的負担の軽減、地区委員会の連携強化と情報の共有化を進めてまいります。また、ガバナー補佐の皆様には、責任と権限の明確化を図り、ガバナーとの連携を深めていただけるよう努めてまいります。

さらに、会員維持・増強、奉仕活動でも重点目標を掲げ、各クラブの自主性と特色を尊重しながら、その活動を力強く支援してまいります。それぞれの職業を通じて社会へ貢献し、高い倫理観を持って行動し、若い世代との交流を深め、未来を担うリーダーの育成、地域社会との協働による奉仕活動の充実に力を注ぎ、地域に必要とされるクラブづくりを勧めてまいります。

本年1月11日から15日まで、米国オーランドにおいて開催された国際協議会に出席し、世界各国から集まったロータリアンとの対話を通じて、ロータリーの未来と自らの責任について改めて深く胸に刻んでまいりました。

オンラインカ・ハキーム・ババロラRI会長は、2026-2027年度のRIメッセージとして、「持続可能なインパクトを生み出そう」を掲げられました。

RI会長は、「ロータリーは私たち自身を変え、より良い人間へと導いてくれた」と語られています。奉仕とは、支援を必要とする人々のためだけにあるのではなく、私たち自身の内面にも変革をもたらす営みであります。

私たちロータリアンは、より良い未来を築くという共通の理想を抱いております。その理想を実現するためには、単なる成果にとどまることなく、地域社会に真の変化をもたらす「インパクト」を意

識した活動が求められます。そして、その変化は、まず私たち一人ひとりの意識と行動から始まります。

自分が変われば、クラブが変わる。

クラブが変われば、地区が変わる。

そして、地域社会をも変えていくことができる。

こうしたR Iメッセージとロータリー行動計画を踏まえ、本年度の地区スローガンを「エンジョイロータリー!!! そしてスマートに…」といたしました。

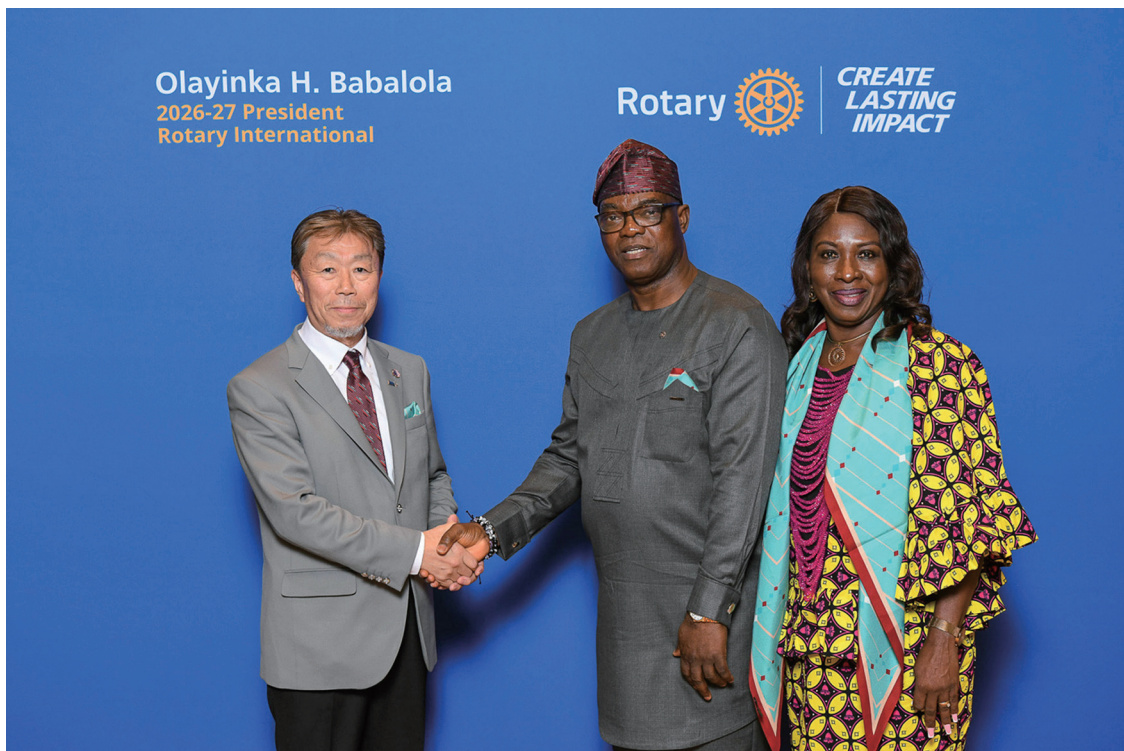
かつてのロータリー活動は、奉仕や親睦が生活の一部として自然に息づき、多くの会員が“ロータリーライフ”そのものを楽しんでいました。

一方、近年はプログラムやプロジェクトの増加により活動が複雑化し、本来の「楽しさ」が薄れつつあるようにも感じます。だからこそ今、原点に立ち返り、「楽しさ」「仲間との時間」「人間味あふれるロータリー」を取り戻していきたくて考えています。

また、運営面においても、活動の意義を大切にしながら、効率的で無理のない仕組みづくりを進めていく必要があります。地区事業についても、必要なものは継続しつつ、見直すべき部分は整理し、持続可能で洗練された形へと進化させてまいります。

地区は、クラブに寄り添う応援団です。

各クラブが魅力と活力にあふれ、地域社会にインパクトを与える存在となれるよう、皆様と知恵を出し合いながら、強く魅力あるクラブづくり、新しいロータリーの姿とともに築いてまいりましょう。



## 2026-2027年度 年次目標

### ■地区ガバナースローガン

# エンジョイ ロータリー!!! そしてスマートに…

#### 【解説】

「楽しくなければロータリーでない」

この言葉を、皆さんもこれまで何度も耳にしてこられたことでしょうか。

では今、私たちは本当にロータリーを楽しめているのでしょうか。

かつてのロータリー活動には、心のゆとりがありました。奉仕活動や親睦活動はもちろん、例会や各種の集まりが生活の一部として自然に溶け込み、多くの仲間がそれぞれの立場でロータリーライフを楽しんでいました。

しかし近年、プログラムやプロジェクトの増加により活動が複雑化し、「楽しさ」が薄れてきてはいないでしょうか。会員同士のコミュニケーションが減り、退会者が増えていると感じる場面も少なくありません。今こそ原点に立ち返り、「楽しさ」「仲間との時間」「人間味のあるロータリー」を取り戻したいと考えます。

そして、自クラブをインパクトのある、強い魅力的なクラブに育てていきましょう。

現在、地区の財政状況は厳しさを増しています。

各クラブにおいても、例会費の高騰や円安の影響により年会費の値上げが難しく、例会回数を減らすなど、さまざまな工夫を重ねている状況ではないでしょうか。

一方で、地区活動の充実を図る中、会議や委員会活動が増加し、会場費や登録費などの負担が結果として、各クラブに重くのしかかっている側面も否めません。

今後は、活動の意義を大切にしながらも、効率的で無理のない運営方法を模索していくことが必要です。

地区内事業については、必要なものはしっかりと残し、割愛や縮小が可能な部分は見直し、無理のない持続可能な形へと進化させてまいります。

スマートとは、「賢い」「手際がよい」「恰好よい」という意味もあります。智恵を出し合い、洗練された簡素化を進めながら、共に新しいロータリーの姿を築いていきましょう。

## 【地区数値目標】

### ①会員数

- ・ロータリークラブ（RC・RSC）  
各クラブ2名純増  
地区大会までに各クラブ1名以上増員
- ・ローターアクトクラブ（RAC）  
各クラブ1名以上純増
- ・新クラブ設立  
RC・RSC・RAC・IAC 新設の積極的推進

### ②ロータリー財団寄付

- ・年次基金：150ドル／人
- ・ポリオプラス基金：30ドル／人
- ・恒久基金（ベネファクター）：各クラブ1名以上
- ・ポリオ・プラス・ソサエティ（PPS）：現PPS会員数＋各クラブ1名以上
- ・ポール・ハリス・ソサエティ（PHS）：地区100名以上を維持

### ③米山記念奨学会寄付

- ・会員一人当たり 25,000円  
普通寄付：5,000円  
特別寄付：20,000円

### ④My ROTARY 会員登録

全会員の90%以上 登録

## 【地区行動目標】

### ① クラブ優秀賞へのチャレンジ

国際ロータリーが定める目標の中からクラブが任意で選び、達成することで、その年度の優れた活動を称える賞です。クラブの活性化と地域社会・国際社会への貢献を促進します。

今年度も地区内すべてのRC、RACが受賞できるよう取り組んでいきましょう。

### ② 会員維持率向上と増強

会員増強と維持は、今年度も最重要課題です。ポイントは「増強は委員会任せにしない」ということです。会員一人ひとりが増強委員長という意識を持っていただくことが成功の鍵になります。また、退会防止の最大の対策は「例会が楽しいこと」です。参加して良かったと思えるクラブ体験が会員維持に繋がります。地域に合った新しいクラブの形づくりも、ぜひ前向きに検討してください。

### ③ ポリオ根絶のためのプロジェクト

ポリオ根絶は、ロータリーが世界に誇る最優先事業です。地区では、世界ポリオデー（10月24日）に合わせてポリオ根絶イベントを開催します。今年で3年目となる、地区の大切な行事です。ぜひ多くの会員の皆さまに参加していただけるようお願いします。

### ④ 公共イメージの向上

ロータリーのイメージは、広報だけで作られるものではありません。会員一人ひとりがロータリーを楽しんでいる姿が、地域社会に一番伝わります。その結果が、信頼や会員増強にもつながります。あわせて、ロータリーロゴの正しい使用についてもご協力をお願いします。

### ⑤ 青少年育成事業の推進

未来を担う若者の育成は、ロータリーの大切な使命です。インターアクト、青少年奉仕、RYLA、青少年交換など、それぞれのクラブでできる形で支援と協力を続けていきたいと思えます。

### ⑥ ローターアクトクラブの活性化

ローターアクトクラブは、ロータリーの未来そのものです。スポンサークラブとしての関わりを大切にしながら、奉仕活動や親睦活動を一緒に楽しんでください。地区内の交流会や、RAC合同ガバナー公式訪問も実施しますので、ご理解とご協力をお願いします。

⑦ My ROTARYの活用と「ロータリーの友」

地区ではMy ROTARYの登録率は高いのですが、「登録したまま使っていない」という声もよく聞きます。情報収集ツールとしての便利さと利点を共有してください。また「ロータリーの友」も、冊子・電子版ともに内容が充実していますので、積極的に活用してください。

⑧ RLIへの積極的参加

RLI (Rotary Leadership Institute) は、ロータリーで最も体系的なリーダー育成プログラムです。参加された方は、必ずクラブに良い影響を持ち帰ってくれます。将来のクラブリーダー育成のためにも、積極的に参加をお願いいたします。

⑨ メークアップの奨励

他クラブへのメークアップは、学びと刺激の宝庫です。卓話、例会運営、人との出会いなど、得るものがたくさんあります。オンラインも活用しながら、ぜひ積極的に他クラブを訪問し、ロータリーを楽しんでください。

⑩ ロータリー希望の風奨学金支援

「ロータリー希望の風奨学金」は、東日本大震災の災害遺児を支える大切な事業です。地区公式訪問例会では、一人1,000円の任意寄付をお願いしています。趣旨をご理解いただき、無理のないご協力をお願いします。

⑪ 国際大会への参加

今年度の国際大会は、2027年5月22日～26日、ドバイで開催されます。なかなか訪れる機会のない場所です。国際ロータリーを肌で感じる絶好の機会ですので、ぜひ参加をご検討ください。

⑫ ICC（国際共同委員会）の活用

ICCを活用し、国際理解と平和推進を進めていきます。今年度はウクライナ地区と協議を行い、支援内容を決定していく予定です。国際奉仕への関心を高めていきましょう。

⑬ パートナーシップの推進

最後に、クラブ単独ではなく、地域社会、他RC、RSC、RAC、IACと連携することで活動の幅は大きく広がります。人間的・職業的成長、そして国際的なつながりを深める一年にしていきましょう。



## 地区幹事あいさつ

国際ロータリー第2820地区

2026-2027年度

地区幹事 鷺谷 一彦（しもだて紫水RC）

2025-26年度より3年任期の地区幹事を拝命いたしました。エレクト年度に入り5か月が経過し、今後を見据えた多忙な日々を送る中、藤木ガバナーエレクト急逝という大変厳しい事態に直面いたしました。

RIへの報告ならびに国際協議会参加への日程が迫る中、後任選出は困難を極めました。地区内パストガバナーをはじめ多くの先輩方のご指導を賜り、さらに当クラブ輩出の萩原パストガバナーの力強いリーダーシップのもと、笠倉ガバナーがこの難局を引き受けてくださいました。

その後は停滞していた準備を取り戻すべくクラブ・事務局が一丸となって取り組み、各実行委員長を中心に三大セミナーまで無事終了することができました。これもひとえに地区内ロータリアン皆様の温かいご支援とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

また、笠倉ガバナーは藤木氏の理念とスローガンを大切に受け継ぎながら、新たな試みにも積極的に挑戦していきます。私も両氏の想いを具現化すべく効率化を図りながら、楽しく、参加したくなるロータリーの実現に向け、微力ながら全力で支えてまいります。

今後とも、皆様のご指導、ご協力を賜りますようお願いいたします。



## 地区会計長あいさつ

国際ロータリー第2820地区

2026-2027年度

地区会計長 小倉 重則（しもだて紫水RC）

2026-2027年度地区会計長に任命されました、しもだて紫水ロータリークラブの小倉重則です。

3月21日に開催された会長エレクト・ラーニングセミナーでは「地区分担金の増額」について、また4月25日に行われたクラブリーダーシップ・ラーニングセミナーでは「地区資金および基金・協力金予算」をそれぞれご承認いただき、ありがとうございました。

会員お一人あたりの負担額は25,440円となり、この資金を基に笠倉ガバナー年度の地区運営および活動が行われます。貴重な資金を適切に管理し、笠倉年度のスローガンに基づいて「スマート」に努めてまいります。

本年度も引き続き、皆様のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 特別月間「母子の健康月間に寄せて」

国際ロータリー第2820地区  
2026-2027年度  
社会奉仕委員会 総括委員長

黒木 雅宏 (水戸西RC)

国際ロータリーでは、毎年7月を「母子の健康月間」と定めています。これはロータリーが掲げる「7つの重点分野」の一つであり、世界中のすべての母親と子どもが質の高い医療を受け、健やかに成長できる社会を目指すための重要な強調月間です。この特別な月を迎えるにあたり、私たちが果たすべき役割について皆様と共に考えてみたいと思います。

世界に目を向けると、今なお年間数百万人の5歳未満の乳幼児や、多くの妊産婦が、予防可能な病気や医療アクセスの不足によって命を落としています。これに対しロータリーは、財団補助金を活用した予防ワクチンの提供、安全な出産キットの配布、現地の保健従事者への研修、そして安全な水と衛生環境の整備など、持続可能な支援を力強く展開してきました。母親が健康であり、子どもが安全に生まれて育つ環境を整えることは、あらゆる社会発展の基礎であり、世界平和の原点でもあります。

しかし、このテーマは決して「遠い発展途上国」だけの問題ではありません。私たちの足元である日本社会に目を向けても、母子を取り巻く環境は深刻な課題を抱えています。核家族化や地域のつながりの希薄化による母親の「孤立育児」、経済的な困窮からくる「子どもの貧困」、そしてヤングケアラーや児童虐待といった問題は、ニュースで見ない日はありません。今や国内の母子支援は、医療の提供だけでなく、経済的・精神的なセーフティネットの構築という、

より複雑なフェーズに入っています。

私たちロータリアンが地域社会において今できることは何でしょうか。国際的な大プロジェクトを支える一方で、私たちは「ローカル」に根ざした奉仕のプロフェッショナルでなければなりません。例えば、地域の「子ども食堂」への継続的な支援、孤立する親子のための「居場所づくり」、あるいは経済的な理由で必要な物資が行き届かない家庭への学習支援や福祉活動などが挙げられます。これらはすべて、子どもたちの命と心の健康を守り、健やかな未来を育む立派な奉仕活動です。

「母子の健康を守ること」は、未来の地域社会を創り、次世代へバトンを繋ぐ活動そのものです。この特別月間を機に、まずは私たちが身近な母子の現状に関心を持ち、小さな一歩でも自分たちにできる支援の形をクラブ全体で模索していこうではありませんか。皆様の温かいご理解と、積極的に知恵を結集しておきましょう。

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」

He profits most who serves best

# ガバナー補佐・クラブ会長・幹事紹介

## 第 1 分 区



2026-2027年度  
第1分区ガバナー補佐

**茅根 修善**  
(北茨城RC)

このたび、RID2820第1分区ガバナー補佐を拝命いたしました北茨城ロータリークラブの茅根修善です。笠倉ガバナー年度のスタートにあたり、その重責を真摯に受け止めるとともに、第1分区各クラブの皆様と心をつにし、一年間務めてまいる所存です。

笠倉地区ガバナーは、本年度のスローガンとして「エンジョイ ロータリー！そしてスマートに・・・」を掲げられました。ロータリー活動を楽しみながら、時代の変化に柔軟に対応し、より効率的かつ効果的なクラブ運営と奉仕活動を進めていくことは、今後のロータリーの持続的発展に向けた重要な視点であると感じております。

また、2026-27年度は「RID2820地区改革・革新」を大きなテーマとして掲げ、新たな時代にふさわしいロータリーの姿を模索し、未来へつなぐ挑戦の年になるものと受け止めております。社会環境や価値観が大きく変化する今だからこそ、私たちは従来の良き伝統を大切にしながらも、新たな発想と柔軟な視点を持ち、地域社会の期待に応える活動を展開していかなければなりません。

第1分区においても、それぞれのクラブが地域に深く根差し、特色ある奉仕活動を展開されています。会員同士の友情を育み、互いに学び合いながら活動を進めてこられた皆様の努力に深く敬意を表します。私はガバナー補佐として、各クラブの特色を尊重しながら、クラブ間の連携を深め、情報共有を促進し、分区全体の活性化につなげてまいりたいと考えております。

「楽しさ」と「スマートさ」、そして「改革・革新」の精神を胸に、第1分区がより魅力ある分区として発展できるよう、皆様とともに歩んでま



日立RC  
会長 橋本 成  
幹事 関山 干郎



日立南RC  
会長 千葉 隆一  
幹事 小野瀬 裕



高萩RC  
会長 菱川 健司  
幹事 石川 彰信



北茨城RC  
会長 村田 文彦  
幹事 瀧 慶治



日立港RC  
会長 山口 彰二  
幹事 桑名 智行



日立北RC  
会長 鈴木 國友  
幹事 宇野 貴法



日立中央RC  
会長 有金 重幸  
幹事 相馬 志乃

います。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。

## 第 2 分 区



2026-2027年度  
第2分区ガバナー補佐

**加部東 孝浩**  
(那珂湊大洗RC)

国際ロータリー第2820地区、第2分区のガバナー補佐を拝命いたしました、那珂湊大洗ロータリークラブの加部東孝浩でございます。

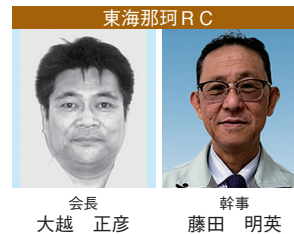
いよいよ笠倉年度の幕が上がります。重責を前に、自宅の鏡の前で「ビシッと頼れるガバナー補佐の顔」を作ってみたのですが、そこに映っていたのは、海風に立ち向かう頼もしさとは少々かけ離れた、いつもの気の抜けた顔でした。この風貌で皆様に安心感を与えられるか一抹の不安はございますが、この際、親しみやすさを最大の武器にして、皆様の懐に飛び込んでまいります。

2026-27年度、RI会長オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏が掲げる「持続可能なインパクトを生み出そう (Create Lasting Impact)」のもと、第2分区も一丸となって進んでまいります。

今期、第2分区では笠倉ガバナーの方針に基づき、8・9月での全クラブ合同オープン例会の開催、そして地区大会までに各クラブ会員1名増の達成という高い目標を掲げております。これらの目標は一筋縄ではいきませんが、クラブの垣根を越えて結束すれば、必ずや実現できると確信しております。

また、私自身が所属するクラブにおきましても、本期より「那珂湊大洗ロータリークラブ」として新たなスタートを切ることとなりました。歴史ある両クラブの融合という大切な節目を迎え、分区の皆様のお力添えをいただきながら、私自身もロータリアンとして、より一層精進してまいります。

ここ茨城県の第2分区は、個性豊かなロータリアンが集うエリアです。既存クラブのさらなる活性化はもちろんのこと、新たな衛星クラブ立ち上げの可能性も秘めた、非常にポテンシャルの高い



地域だと感じております。「楽しいロータリー」の実践こそが、会員増強やクラブ活性化の原動力です。1年後、皆様と「あの時はよく笑い、よく議論した」と美酒を酌み交わせるよう、気負いすぎず、しかし目標達成に向けて全力で努めてまいります。

この1年間、分区内を駆け回る私を、どうぞ温かく、そしてときには大いに笑い飛ばしながらサポートいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

## 第 3 分 区



2026-2027年度  
第3分区ガバナー補佐

**奥貫 守**  
(水戸東RC)

2820地区の皆さま、こんにちは  
このたび、国際ロータリー第2820地区第3分区  
ガバナー補佐を拝命しました奥貫 守です。  
私は、水戸東ロータリークラブに入会して、31年  
を迎えました。

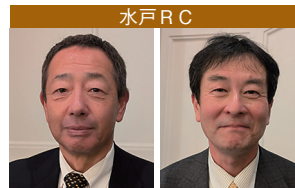
身に余る大役ではございますが、地区の発展と  
各クラブの皆さまの活動を支えるべく誠心誠意努  
めてまいり所存です。よろしくお願ひします。ロ  
ータリー歴は、長いのですが地区への出向は無く  
池の中の蛙です。今は、地区内の状況・スケジ  
ュールを把握することで大変です。昨年11月よりガ  
バナー補佐研修を受けてきました。My ROTARY  
ラーニングセンターのガバナー補佐の基本に始ま  
り、ガバナー主催のガバナー補佐ラーニングセミ  
ナー4回、第2820地区例年行われる研修・協議会、  
合同会議等に参加してまいりました。これまでは、  
卓上のセミナーであって実践ではありません。7  
月から始まるクラブ協議会、公式訪問に準備をし  
て参ります。

笠倉ガバナーのスローガン

『エンジョイ ロータリー!!!』

そしてスマートに・・・』

楽しくなければロータリーではないと話されて  
います。私達に、今こそ原点に立ち返り「楽しさ」  
「仲間との時間」「人間味のあるロータリー」と  
会員同志のキズナを深める重要性を強調しており  
ます。私は、第3分区のスローガンを『社会貢献  
豊かな未来 ロータリーを楽しむために』としま  
しました。笠倉ガバナーの方針・行動計画に一歩でも  
近づけたいとの思いです。私は、各クラブが抱え  
る課題や目標に寄り添いながらガバナー補佐とし  
てお力になれるよう努めて参ります。クラブの皆  
さまの知恵と経験が、分区全体の力となり、より



水戸 RC  
会長 荻原 武 幹事 川崎 隆一



笠間 RC  
会長 大枝 輝生 幹事 大槻 洋一



水戸西 RC  
会長 星野 幸子 幹事 中野 智一



水戸南 RC  
会長 島根 昌明 幹事 岡村 太郎



友部 RC  
会長 内桶 克之 幹事 田名見秀明



水戸東 RC  
会長 青木 健一 幹事 加治木博文



水戸好文 RC  
会長 井坂 陽子 幹事 磯 美保



茨城ロータリーEクラブ  
会長 張 朔源 幹事 和田 龍太

豊かなロータリー活動へとつながると確信して  
おります。そして、何よりも同じロータリアンとし  
て、皆様と1年間ご一緒出来ることを大変うれし  
く思っています。1年間、どうぞ温かいご指導と  
ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆  
様と共に、実り多い年度を築いていきたいと思っ  
ています。

## 第 4 分 区



2026-2027年度  
第4分区ガバナー補佐

**関 一美**  
(境RC)

第4分区ガバナー補佐を拝命しました境ロータリークラブ所属の関一美です宜しくお願ひ致します。ロータリー歴は浅く2020年1月に入会し、2024-2025年度クラブ会長を務めましたはまだまだ経験不足で勉強中であります。

当分区は、古河ロータリークラブ、境ロータリークラブ、岩井ロータリークラブ、古河東ロータリークラブそして古河中央ロータリークラブの歴史ある5クラブの構成になります。

さて、RI会長オンラインカ・ハキューム・ババロラ氏のメッセージ「持続可能なインパクトを生み出そう」と宣言いたしました。進歩は自ずと起きるものではなく、自身の内なる変化から始まります、と言われました。その変化こそ持続可能なインパクトに繋がると私は理解いたしました。

そして、笠倉ガバナーはスローガン「エンジョイ ローター！ そしてスマートに…」のもと「楽しさ」「仲間との時間」「人間味のあるロータリー」を取り戻し魅力的なクラブに成長していかうと唱えました。次世代につなげていくためにもクラブの奉仕活動は変化し継続をしていくことととらえます。

昨今の経済・社会状況を見ると、クラブ運営に苦心しているのではないかと推察いたしますが各クラブの皆さんが「エンジョイロータリー」を感じ充実したロータリーライフになれますよう地区と分区の橋渡し役として努めてまいります。

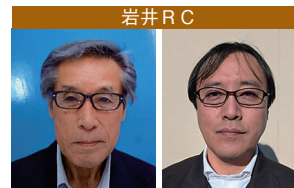
最後に2026-27笠倉ガバナーの地区数値目標4項目、地区行動目標13項目達成のため、本年度は初の試み事前クラブ協議会、公式訪問そして会長・幹事会等において情報交換を密にとり実りある一年にしていきたいと思ひます。ご指導ご協力よろしくお願ひいたします。



古河RC  
会長 阿久津 理  
幹事 相良 登



境RC  
会長 小林 昭仁  
幹事 新井 衛



岩井RC  
会長 富山 満  
幹事 石塚 真一



古河東RC  
会長 松本 幸子  
幹事 古谷由紀子



古河中央RC  
会長 野本 充敏  
幹事 福田 寛之

## 第 5 分 区



2026-2027年度  
第5分区ガバナー補佐

**得能 信人**  
(結城RC)

2026-2027年度第5分区ガバナー補佐を拝命いたしました、結城ロータリークラブ所属の得能信人と申します。ロータリー歴は11年目になり、2022-2023年にクラブ会長を務めさせていただきました。

本年度は第5分区しもだて紫水ロータリークラブより笠倉勉ガバナーが選出されました。分区としては大変名誉なことと誇らしく思いますが、補佐としては他分区の補佐の皆様と笠倉ガバナーとの調整も大切な役目と考えております。

昨年12月よりのガバナー補佐会議に始まり、直近の三大セミナーや各ラーニングセミナーを通して他のガバナー補佐の皆様と良好な関係を築かせていただき安堵しています。引き続き同期ガバナー補佐の皆様と共に責務と役割を学び、笠倉ガバナーを支えつつも、何より地区の会員の皆様の思いをガバナーと共有し、より良い奉仕と親睦の機会を創出できるよう努めてまいります。

笠倉年度はスローガン

「エンジョイ ロータリー!!! そしてスマートに…」を掲げました。地区数値目標として、会員数・財団寄付金・米山記念奨学金・My ROTARY登録数、地区行動目標は13項目を提示しました。ガバナー補佐として、笠倉年度が出された目標達成の実現に向けて分区内の各クラブをサポートし、全会員が情報を共有できるようにしていきたいと思っております。

地区目標に関しては

1. 会員増強は、クラブ2人増強  
地区大会までに1名以上増員  
衛星クラブ設立 法人会員、家族会員、準会員
2. ロータリー財団寄付
3. 米山記念奨学会寄付
4. My ROTARY 会員登録地区目標90%



下館RC  
会長 堀江 勤 幹事 早瀬 浩一



結城RC  
会長 松本 廣久 幹事 小澤 八紘



下妻RC  
会長 大島 浩 幹事 古澤 毅彦



しもだて紫水RC  
会長 大和田 忠 幹事 布目 操



筑西きぬRC  
会長 竹野 信吾 幹事 廣澤 孝

地区行動目標 分区内の運営方針

1. 5クラブの会長・幹事グループライン作成で、各クラブの状況・プログラム等の共有を図ります。
2. 5クラブのクラブ優秀賞の習得、My ROTARYの登録状況等を定期的に情報共有してまいります。
3. 5クラブのプログラムの共有に伴い、他クラブの雰囲気や体験・活動の参加、又は、興味ある卓話者の話を聞けるようにメイクアップの推進をしていきます。
4. 5クラブの更なる親睦を深める為に、合同例会・ゴルフコンペを開催します。
5. 11月29日の地区大会を分区全体で設営に努めます。

第5分区は昨年一昨年と共に活動してきたクラブが苦渋の決断の上、R I 脱退の道を選択されました。彼らの思いを胸に秘めつつも、笠倉ガバナー輩出を契機に5クラブの活動が更に活発になり、楽しいクラブ運営ができるように努めて参りますので、1年間宜しくお祈りいたします。

## 第 6 分 区



2026-2027年度  
第6分区分会ガバナー補佐

**市村 文江**  
(つくばシティRC)

2026-27年度第6分区分会ガバナー補佐を拝命いたしました、つくばシティロータリークラブの市村文江です。この機会に感謝するとともに、その責任の重さを深く感じています。

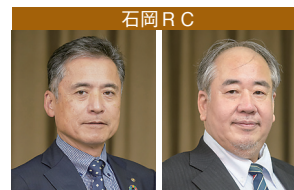
社会情勢の変化や物価上昇により、各クラブの運営環境は厳しさを増しています。例会運営や奉仕活動の負担が高まる中、各クラブが培ってきた知見や経験を共有し、互いに学び合うことで、より良いクラブ運営につなげていくことが大切だと思います。

また、地域社会への奉仕を継続し、クラブの活力を維持するためには、会員増強と会員維持が欠かせません。新たな仲間を迎えるとともに、会員一人ひとりがロータリー活動に魅力とやりがいを感じられる環境づくりを進めていきましょう。

ガバナー補佐として、地区の数値目標と行動目標の達成に向け、クラブ訪問や情報提供、課題解決支援を通じて各クラブを支援してまいります。

### 【重点活動】

- ①各クラブ純増2名の会員増強（地区大会までに各クラブ1名以上増員）を目指しオープン例会の開催
- ②ロータリー財団への寄付推進
- ③米山記念奨学会への寄付推進
- ④My ROTARY登録率90%以上の達成
- ⑤クラブ優秀賞の全クラブ獲得
- ⑥RLIへの積極的参加推進
- ⑦世界ポリオデー（10月24日）関連イベントへの参加推進
- ⑧青少年育成事業（RYLA・青少年奉仕）の推進
- ⑨会長・幹事との分区分協議会を年4回開催  
(6/4、9/10、12/10、R9/6/3)



石岡RC

会長 櫻井 茂  
幹事 高橋 恒士



土浦RC

会長 鈴木 敏之  
幹事 白田 恭士



土浦南RC

会長 高野 竜也  
幹事 井坂 雄祐



つくば学園RC

会長 山崎 幸登  
幹事 今川 武彦



石岡87RC

会長 飯塚 徳和  
幹事 平井 豊



土浦中央RC

会長 大峯 浩之  
幹事 二宮 靖幸



つくばシティRC

会長 金山 義信  
幹事 浜路洋一郎



阿見RC

会長 佐藤 勲  
幹事 大野 利明



つくばサンライズRC

会長 雨宮 淳  
幹事 伊賀 秀文

- ⑩分科会方式によるIM（2月13日）および分区分会ゴルフ大会（10月8日・茨城ゴルフ）の開催

これらの重点活動を軸に、各クラブを支援しながら一年間、ガバナー補佐として全力で取り組みます。

地区とクラブをつなぐ架け橋として、各クラブの特色と伝統を尊重しながら活動を支援してまいりますので一年間、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします

## 第 7 分 区



2026-2027年度  
第7分区ガバナー補佐

**北村 英明**  
(水海道RC)

国際ロータリー第2820地区のロータリアンの皆様におかれましては、日頃よりロータリー活動の発展にご尽力いただき、心より敬意と感謝を申し上げます。

このたび、第7分区ガバナー補佐を拝命することとなりました。責任の重さを感じるとともに、皆様とともに地区の発展に携わる機会をいただきましたことを大変光栄に存じます。

ロータリーは「超我の奉仕」の理念のもと、地域社会や国際社会に対して多くの奉仕活動を展開し、人と人とのつながりを育みながら発展しております。しかしながら、近年は会員数の減少や会員構成の変化、社会環境の急速な変化など、私たちを取り巻く状況も大きく変わっております。そのような時代だからこそ、ロータリーの原点である奉仕と親睦の価値を改めて見つめ直し、次世代へとつないでいくことが重要であると考えます。笠倉ガバナーの“エンジョイロータリー!!!そしてスマートに…”のスローガンの趣旨をよく理解し、皆さんとともに楽しく有意義な品位を保ったロータリー活動を進められれば幸いです。

ガバナー補佐として、各クラブの自主性と独自性を尊重しながら、クラブ運営や奉仕活動の充実に向けた支援に努めてまいります。また分区内クラブ間の連携を深め、それぞれの優れた取り組みや経験を共有することで、分区全体の活性化につなげていきたいと考えております。それによって地区の活性化にもつながれば幸いです。

会員一人ひとりがロータリー活動に誇りと喜びを感じ、参加することの意義を実感できる環境とはどのようなものか？各クラブを訪問しながら模索したいと考えます。多様な価値観を尊重しながら、誰もが参加しやすく魅力あるクラブづくりを



竜ヶ崎 RC  
会長 伊東 寂円 幹事 倉沢 南州



水海道 RC  
会長 石塚 利明 幹事 宮代 尚



取手 RC  
会長 鴻巣 智和 幹事 長谷 豊



牛久 RC  
会長 高橋 研二 幹事 本橋 高志



龍ヶ崎中央 RC  
会長 大原 浩行 幹事 菲澤 勝

推進し、会員増強や次世代リーダーの育成をするにはどうしたらよいか？各クラブの皆様の考えのヒアリングに努力します。

私自身、皆様との対話を大切にし、耳を傾けながら課題を共有できれば、と考えます。微力ではございますが、各クラブと地区をつなぐ架け橋としての役割を果たし、地区目標の達成に向けて励んで参る所存です。

結びに、分区内各クラブ会長をはじめ会員の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げますとともに、国際ロータリー第2820地区のさらなる発展と、皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 第 8 分 区



2026-2027年度  
第8分区ガバナー補佐

**加藤 健司**  
(銚田RC)

2026-2027年第2820地区笠倉ガバナーの下、第8分区ガバナー補佐を拝命致しました銚田ロータリークラブの加藤健司です。

第8分区のエリアは鹿行（ろっこう）地区と呼ばれ、湖と海に囲まれた土地柄から、かつては「陸の孤島」とも言われてきました。しかし、行政区分や市は異なっても地域の結びつきは強く、昔から「鹿行は一つ」という言葉で表されるように、人と人とのつながりが深く、まとまりのある地域です。

それは5つのロータリークラブにおいても同様であり、互いに協力しながら活動を続けております。

本年度、RI会長オラインカ・ハキーム・ババロラ氏は「持続可能なインパクトを生み出そう」というメッセージを掲げられました。また、笠倉ガバナーは「エンジョイ ロータリー!!!そしてスマートに・・・」を掲げ、「楽しくなければロータリーではない」という考えのもと、ロータリー活動の原点である「楽しさ」「仲間との時間」「人間味のあるロータリー」を取り戻そうと提唱されています。

その実現のためには、会員一人ひとりが知恵を出し合い、洗練された簡素化を進めながら、ともに新しいロータリーの姿を築いていくことが大切であると仰っています。

私どもガバナー補佐の役割は、クラブと地区との橋渡しであると認識しております。担当クラブを訪問し、クラブの活動状況や目標、各委員会の取り組みについて意見を伺いながら、目標の設定と達成を支援し、課題解決に向けて共に考え、歩んでまいりたいと思っております。

また、本年度は公式訪問やオープン例会の実施、



銚田 RC  
会長 円谷 俊介 幹事 鬼沢 保平



鹿島臨海 RC  
会長 木内 一枝 幹事 岩井 昭一



玉造 RC  
会長 塙 真樹 幹事 前田 成子



波崎 RC  
会長 山本 英雅 幹事 才賀 秀樹



鹿島中央 RC  
会長 飛田喜代志 幹事 井口 善成

地区大会までに各クラブ純増1名を目指す取り組みなど、新たな試みも予定されています。

これらの変化を大きな成果へとつなげるため、第8分区の会員の皆さまと力を合わせ、一丸となって活動してまいります。どうぞ一年間、よろしく願いいたします。

## ローターアクト

### 2026-2027年度国際ロータリー第2820地区RA紹介

2026-2027年度 国際ロータリー第2820地区

ローターアクト代表 **坂東 利哉**

平素より地区RA活動に多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2026-2027年度、地区RA代表を務めさせていただきます、つくば学園RACの坂東利哉と申します。

現在、第2820地区RAでは大学生および社会人、計45名が茨城県内の各地で活動しております。

私が考えるローターアクトの最大の魅力は、地区や国境を越えて一生涯の仲間を得られることです。異なる地域や環境で活動する仲間との交流は、新たな価値観や考え方に触れる機会となり、自身の成長につながっております。また、ロータリアンの皆様との交流もローターアクトならではの魅力です。豊富な経験に裏打ちされた知恵や助言は、普段の生活や仕事だけでは得ることのできない学びを与えてくれます。世代を超えた交流の中で、多くの気づきと成長の機会をいただけてきました。

私自身2022年の入会以来、全国各地の地区を訪れ、数えきれないほどの素晴らしい出会いと経験に恵まれました。そして今、その魅力をより多くの方に伝えたいという思いを強く持っております。現在は神奈川県に居住しておりますが、この最高の経験を2820地区の仲間へ伝え、より多くの会員がローターアクトの魅力を実感できる地区にすべく、また次世代のローターアクトたちがさらに大きな可能性を広げられる環境を築くべく、遠方の地からではありますが、地区代表として全力で努めてまいります。

今後ともご指導とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

## 衛星クラブ

鹿島臨海令和ロータリー衛星クラブ  
 古河東ゆきはなロータリー衛星クラブ  
 下館さくらロータリー衛星クラブ  
 下妻さぬま湖畔ロータリー衛星クラブ  
 高萩渚ロータリー衛星クラブ  
 つくば学園ユースロータリー衛星クラブ  
 常陸太田 Shine ロータリー衛星クラブ  
 日立北さくらロータリー衛星クラブ  
 境利根川ロータリー衛星クラブ  
 阿見霞ヶ浦ロータリー衛星クラブ

2026-2027年度 国際ロータリー第2820地区  
**ガバナー公式訪問に関するお願い**

ガバナーエレクト **笠倉 勉**

公式訪問は、年間予定表の通り2026年7月15日（水）から始まります。  
貴クラブへの訪問を実り多きものとするために、次のことをご準備、お手配くださいますようお願い申し上げます。

**1. 公式訪問の際の必要書類**

クラブ現況報告書

「公式訪問のためのクラブ現況報告書記載要領（後頁6）に準拠して作成の上、訪問日の3週間前までにガバナー事務所へ3部（ガバナー、ガバナー事務所、ガバナーエレクト事務所へ各1部お渡しします）所属分区ガバナー補佐へ1部お送りください。

**2. 公式訪問の日程について**

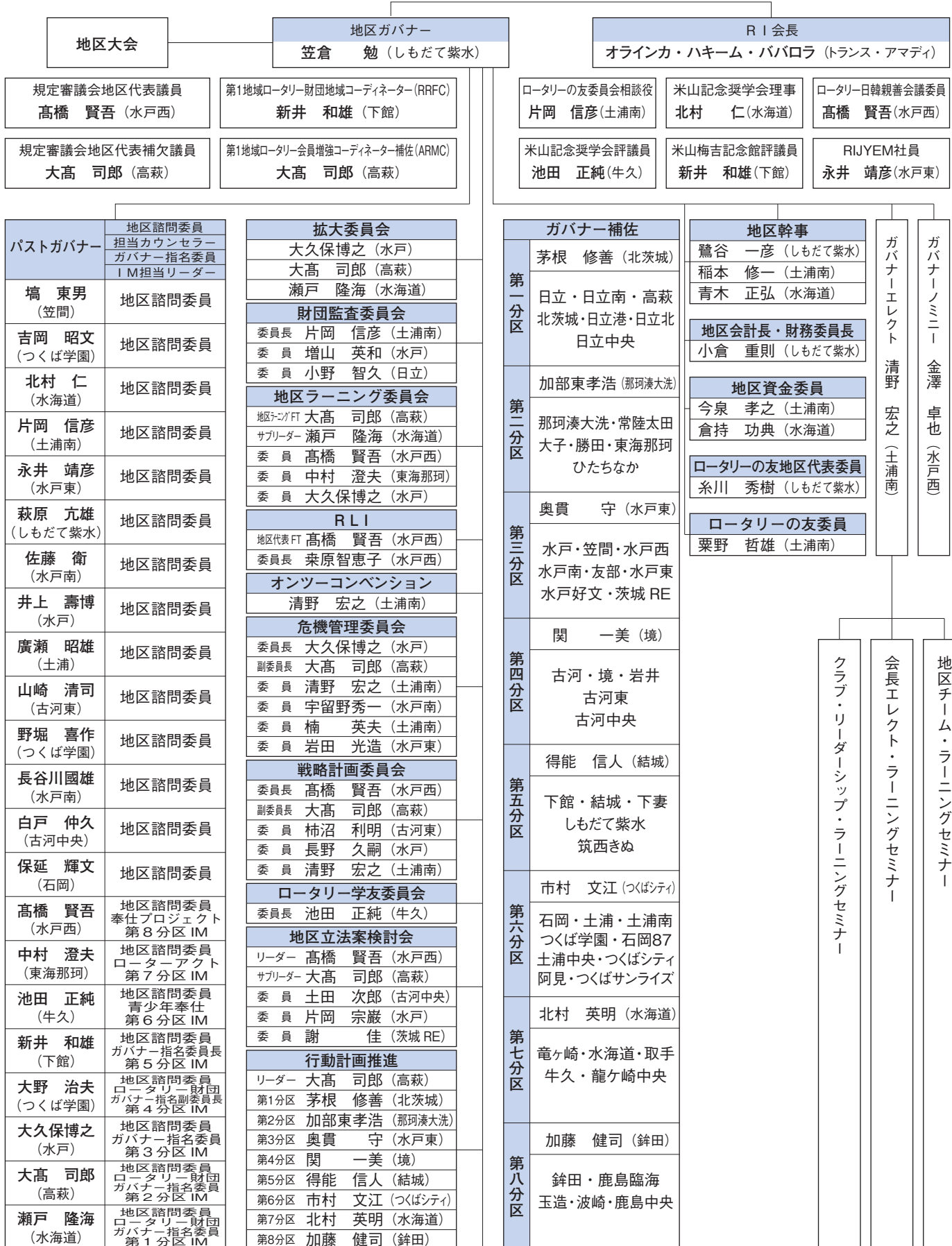
会長・幹事懇談会	10:30～11:00
クラブ座談会	11:10～12:10
例会出席	12:30～13:30

\*公式訪問において懇親会・お土産はご遠慮させていただきます。

**備考**

- (1) 公式訪問は原則として日帰りを予定しております。宿泊の際には、後日ご相談致します。
- (2) クラブ例会には、多くの会員の出席を奨励してください。
- (3) 会長・幹事懇談会の出席者は、基本的にクラブ会長・会長エレクト・幹事とします。
- (4) クラブ座談会の出席者は全員ご出席ください。
- (5) クラブ座談会の司会は会長がお務めください。
- (6) 当日の日程スケジュールが出来ましたら、事前にガバナー事務所までお知らせください。  
ただし、集合時間・場所につきましては、1ヶ月前のご連絡をお願いいたします。

2026-2027年度 国際ロータリー 第2820地区 笠倉年度地区組織図



クラブ奉仕担当カウンセラー 大高 司郎 (高萩)	奉仕 P 担当カウンセラー 高橋 賢吾 (水戸西)	青少年奉仕担当カウンセラー 池田 正純 (牛久)	ローターアクト担当カウンセラー 中村 澄夫 (東海那珂)	ロータリー財団担当カウンセラー 大野 治夫 (つくば学園)	米山記念奨学会担当カウンセラー 瀬戸 隆海 (水海道)
クラブ奉仕 総括委員長 ◎井上 誠 (下妻)	職業奉仕 総括委員長 ◎安 隆之 (水戸)	青少年奉仕 総括委員長 ◎宇留野秀一 (水戸南)	ローターアクト 総括委員長 ◎楠 英夫 (土浦南)	ロータリー財団 総括委員長 ◎大野 治夫 (つくば学園)	米山記念奨学会 総括委員長 ◎岩田 光造 (水戸東)
会員増強・維持 ○篠原 純一 (境)	中村 潤 (古河中央)	インターアクト ○菅原 光雄 (日立港)	飯田 大樹 (古河中央)	ポリオプラス ○倉持 悦子 (しもだて紫水)	米山寄付増進 ○齋藤百合子 (古河)
片岡 宗厳 (水戸)	征矢 亘 (日立)	百目鬼芳子 (しもだて紫水)	荒川 浩信 (日立南)	木村 英博 (つくば学園)	大野 佳典 (つくば学園)
小林 正典 (古河中央)	川島 利市 (鉾田)	溝口 哲矢 (土浦南)	皆葉 真治 (つくば学園)	鐵屋 竜朗 (つくばシティ)	米山学友 ○張 朔源 (茨城 RE)
衛星クラブ担当	社会奉仕 総括委員長 ◎黒木 雅宏 (水戸西)	中庭 彰 (水戸)	関 康彦 (水戸)	資金管理・推進	○八木 健二 (日立)
杉山 吉彦 (下館)	小野 智久 (日立)	橋本 壽郎 (東海那珂)	堀江 俊一 (下館さくらRSC)	○八木 健二 (日立)	大塚 芳行 (土浦)
山田 広美 (下妻さぬま湖畔RSC)	根本ひろ美 (水戸東)	大森 寛之 (水戸西)	坂東 利哉 (つくば学園RAC)	瀬戸口 進 (つくば学園)	齋藤 優美 (つくば学園)
クラブサポート・新クラブ設立 ○鈴木 敏雄 (古河)	小林 裕明 (水戸西)	青少年並びにライラ ○石塚 徹 (水海道)		佐伯 優 (竜ヶ崎)	米山選考 ○佐谷 道浩 (古河東)
緒方 惟文 (水戸東)	国際奉仕 総括委員長 ◎村上 義孝 (つくば学園)	広瀬 貴之 (つくば学園)		補助金 ○椿 眞里 (北茨城)	中山 眞矢 (水戸西)
小島 信一 (しもだて紫水)	WCS・グローバル補助金担当 国際交流奨学金担当	鈴木 淑登 (高萩)		地区補助金担当 ○椿 眞里 (北茨城)	前田 成子 (玉造)
公共イメージ ○山崎 哲男 (水海道)	録田 幸裕 (水戸南)	青少年交換 ○軽部 守彦 (下妻)		申請 清藤 豊 (水戸東)	
吉田 慎二 (下妻さぬま湖畔RSC)	友好地区担当 大谷 祥寛 (古河東)	飯泉 智弥 (つくば学園)		申請補 池田 一郎 (つくば学園)	
森 久仁子 (筑西きぬ)	川上 勉 (龍ヶ崎中央)	中庭 浩実 (水戸南)		グローバル補助金担当 ○尊田 京子 (つくばサンライズ)	
	川上 勉 (龍ヶ崎中央)	清野 宏之 (土浦南)		ロータリー平和フェローシップ ○木村 英博 (つくば学園)	
	ICC 村上 義孝 (つくば学園)			ロータリーカード推進 ○白岩 大樹 (牛久)	

## 2026-2027年度 国際ロータリー第2820地区

## 地区資金予算書

## A. 収入の部

(単位:円)

科 目	2026-27年度 (1,820名)	2025-26年度 (1,900名)	前年度比較増	2024-25年度 (予) (1,900名)	2024-25年度 (実)	備 考
前 期 繰 越	200,000	200,000	0	3,400,000	3,475,429	
地区資金受入額	13,540,800	7,676,000	5,864,800	11,267,000	11,183,870	7,440×1,820名
地区大会余剰金	0	0	0	0	0	
会員増強補助金	0	0	0	0	72,000	
災害見舞取崩	0	0	0		0	
危機管理基金取崩	0	0	0		0	
クラブ拡大基金取崩	0				1,500,000	
地区年鑑積立金取崩	500,000		500,000		0	
規定審議会旅費積立金取崩	0				600,000	
地区運転資金準備金取崩	0	7,000,000	▲7,000,000		0	
雑 収 入	0	0	0	0	48,259	
合 計	14,240,800	14,876,000	▲635,200	14,667,000	16,879,558	

## A. 支出の部

(単位:円)

科 目	2026-27年度 (1,820名)	2025-26年度 (1,900名)	前年度比較増	2024-25年度 (予) (1,900名)	2024-25年度 (実)	備 考
<b>1. 委員会活動費等</b>						
ク ラ ブ 奉 仕	630,000	700,000	▲70,000	700,000	624,768	
奉仕プロジェクト	234,000	260,000	▲26,000	260,000	53,691	
職 業 奉 仕		0	0	0		
社 会 奉 仕		0	0	0		
国 際 奉 仕		0	0	0		
(友好地区担当)	90,000	100,000	▲10,000	100,000	0	
青 少 年 奉 仕	180,000	200,000	▲20,000	1,180,000	1,376,825	
ロ ー タ ー ア ク ト	90,000	100,000	▲10,000	100,000	87,238	
ロ ー タ リ ー 財 団	270,000	1,300,000	▲1,030,000	300,000	288,116	
米 山 記 念 奨 学 会	162,000	180,000	▲18,000	180,000	173,905	
ロ ー タ リ ー の 友	30,000	50,000	▲20,000	50,000	0	
戦 略 計 画 委 員 会	90,000	100,000	▲10,000	100,000	22,000	
危 機 管 理 委 員 会	90,000	100,000	▲10,000	100,000	55,000	
諮 問 委 員 会	540,000	600,000	▲60,000	600,000	393,850	
地区ラーニング委員会	90,000	100,000	▲10,000	100,000	0	
ガバナー補佐会議	270,000	300,000	▲30,000	300,000	272,900	
地区委員長会議	90,000	100,000	▲10,000	100,000	75,600	
R L I	270,000	300,000	▲30,000	300,000	356,000	
学 友 委 員 会	225,000	250,000	▲25,000	250,000	214,576	
地区立法案検討会	90,000	100,000	▲10,000	0	0	
小 計	3,441,000	4,840,000	▲1,399,000	4,720,000	3,994,469	

(単位:円)

科 目	2026-27年度 (1,820名)	2025-26年度 (1,900名)	前年度比較増	2024-25年度 (予) (1,900名)	2024-25年度 (実)	備 考
<b>2. 補助金</b>						
地 区 大 会	720,000	720,000	0	800,000	800,000	
クラブリーダーシップラーニングセミナー	650,000	650,000	0	650,000	650,000	
会長エレクトラーニングセミナー	250,000	250,000	0	250,000	250,000	
I ・ M	400,000	400,000	0	400,000	400,000	50,000×8分区
会 長 ・ 幹 事 会	400,000	400,000	0	400,000	735,285	
ポリオイベント活動費	500,000	0	500,000	0	0	
次期ガバナー旅費	800,000	800,000	0	800,000	800,000	
ガバナー補佐活動費	1,040,000	1,080,000	▲40,000	1,100,000	1,080,000	20,000×52RC
親睦活動費(野球・ゴルフ)	50,000	50,000	0	50,000	50,000	
ク ラ ブ 拡 大 費	0	0	0	0	1,500,000	
規 定 審 議 会 旅 費	0	0	0	600,000	600,000	
小 計	4,810,000	4,350,000	460,000	5,050,000	6,865,285	

<b>3. 寄付金・その他</b>						
ロータリー文庫運営費	364,000	380,000	▲16,000	570,000	369,100	200×1,820名
全国ガバナー会費	728,000	760,000	▲32,000	760,000	847,240	400×1,820名
平和奨学生支援金	54,600	57,000	▲2,400	38,000	0	30×1,820名
R I J E M	600,000		600,000	0	541,710	
旅 費	1,000,000	1,500,000	▲500,000	1,500,000	867,145	
慶 弔 費	100,000	100,000	0	100,000	480,550	
登 録 料	2,000,000	2,200,000	▲200,000	2,000,000	1,927,990	
監 査 費	30,000	30,000	0	30,000	30,000	
年次報告書作成費	350,000	350,000	0	350,000	315,410	
全国ローターアクト研修会積立金	0	0	0	0		
災 害 見 舞 金	0	0	0	0		
地 区 年 鑑	500,000	0	500,000	0		
寄 付 金	0	0	0	0	265,000	
雑 費	0	100,000	▲100,000	70,000	0	
小 計	5,726,600	5,477,000	249,600	5,418,000	5,644,145	
<b>4. 予備費</b>						
	263,200	209,000	54,200	79,000	66,220	
合 計	14,240,800	14,876,000	▲635,200	15,267,000	16,570,119	

## 2026-2027年度 国際ロータリー第2820地区

## 基金及び協力金予算書

(単位:円)

科 目	2026-2027年度			2025-26 年度(予)	2024-25 年度(予)	2024-2025年度(実)	
	一人当り	収 入	支 出	収 入	収 入	収 入	支 出
	1,820名			1,900名	1,900名		
ガバナー月信協力金	1,980	3,603,600	3,603,600	5,472,000	5,168,000	5,129,210	3,545,595
地区大会負担金	2,000	3,640,000	3,640,000	3,800,000	5,700,000	5,657,710	7,200,000
ガバナー事務所協力金	9,930	18,072,600	18,072,600	18,297,000	11,134,000	11,056,480	20,907,192
青少年交換基金	1,600	2,912,000	2,912,000	3,040,000	3,800,000	3,771,080	4,520
インターアクト基金	600	1,092,000	1,092,000	1,216,000	1,520,000	1,507,560	3,404,825
ローターアクト基金	600	1,092,000	1,092,000	1,216,000	1,520,000	1,507,560	1,169,967
ライラ基金	300	546,000	546,000	608,000	760,000	753,780	936,746
青少年育成基金	150	273,000	273,000	323,000	380,000	376,890	0
国際交流共同基金	50	91,000	91,000	95,000	190,000	189,540	0
W C S 基金	0	0	0	0	190,000	189,540	0
国際交流基金	40	72,800	72,800	76,000	190,000	189,540	0
ロータリー財団基金(奨学生)	100	182,000	182,000	190,000	190,000	189,540	0
地区年鑑積立金	40	72,800	72,800	76,000	76,000	75,040	75,040
災害見舞金	0	0	0	0	0	0	0
危機管理基金	200	364,000	364,000	380,000	380,000	373,010	373,010
規定審議会旅費積立金	90	163,800	163,800	171,000	171,000	167,750	167,750
クラブ拡大基金	0	0	0				
地区運転資金準備金	320	582,400	582,400				
小 計	18,000	32,760,000	32,760,000	34,960,000	31,369,000	31,134,230	37,784,645
繰 越						36,925,372	
合 計	18,000	32,760,000	32,760,000	34,960,000	31,369,000	68,059,602	37,784,645

科目間の流用は可とする

2026-2027年度 国際ロータリー第2820地区

送金カレンダー

(単位:円・ドル)

	内 訳	会 員			新 会 員		1件の金額	記 事	送 金 先
		一人当り会費			7/2~12/31	1/2~6/30			
		(前期)	(後期)	年度計	(在籍月分)	(在籍月分)			
		7月1日	7月1日		1月当たり	1月当たり			
A1	人頭分担金	\$42.75	\$42.75	\$85.50				決められたレートで	銀行名 三井住友銀行 新宿通支店
	規定審議会追加費	\$1.00		\$1.00					口座名 国際ロータリー
A2	ザ・ロータリオン購読料	\$18.00	\$18.00	\$36.00				半期毎A1と共に送金 (必要に応じて)	日本事務局
A3	R I 文 献								口座番号 普通預金 6733244
A4	ロータリー財団篤志寄付							フェロー等個人寄付	
A5	同 ク ラ ブ 寄 付							ミリオンダラー等	
B1	米山奨学会普通寄付	2,500以上	2,500以上	5,000以上					銀行名 三井住友銀行 京橋支店
B2	同 特 別 寄 付							米山功労者個人寄付	(財)ロータリー
B3	同 ク ラ ブ 寄 付							米山月間等にご協力下さい	米山記念奨学会 普通預金 0920373
									TEL 03-3434-8681
C1	ロータリーの友購読料	1,650	1,650	3,300				他のPR用にもご注文ください	銀行名 三井住友銀行 浜松町支店
C2	同 英 語 版 購 読 料					1,000		会員の10%購読下さい	(社)ロータリー日本事務局
C3									口座番号 普通預金 7450015
C4	ロータリー手帳								問合せ先 ロータリーの友事務所
C5	そ の 他 出 版 物								TEL 03-3436-6651
	A ~ C 計							消費税・送料別途	FAX 03-3436-5956
D1	地 区 資 金	3,720	3,720	7,440					銀行名 常陽銀行 下館支店
D2	ガバナー月信協力金	990	990	1,980					口座名 笠倉ガバナー 事務所
D3	地区大会分担金	1,000	1,000	2,000					会計長 小倉重則
D4	ガバナー事務所協力金	4,965	4,965	9,930					口座番号 普通預金 2312649
D5	青少年交換基金	800	800	1,600					問合せ先 〒318-0041
D6	インターアクト基金	300	300	600					茨城県筑西市乙907-1
D7	ローターアクト基金	300	300	600					ホテルニューつたや3F
D8	ライラ基金	150	150	300					
D9	青少年育成基金	75	75	150					
D10	国際交流共同基金	25	25	50					
D11	W C S 基金	0	0	0					
D12	国際交流基金	20	20	40					
D13	ロータリー財団基金(奨学金)	50	50	100					
D14	地区年鑑積立金	20	20	40					2026-2027年度
D15	災害見舞金	0	0	0					笠倉勉ガバナー事務所
D16	危機管理基金	100	100	200					TEL 0296-45-4701
D17	規定審議会旅費積立金	45	45	90					FAX 0296-45-4702
D18	クラブ拡大基金	0	0	0					E-mail 26-27@rid2820.jp
D19	地区運転資金	160	160	320					
	D1~D19 合計	12,720	12,720	25,440	2,120	2,120			
E1	地区大会登録料	ホストクラブから各クラブに請求された金額							ホストクラブ指定の 預金口座へ
E2	C L L S 登録料								
E3	I.M.他会合登録料								
E4	P E L S 登録料								

- 注) 1. 整理の都合上、各種ご送金は必ず専用の送金明細書をご記入の上、ガバナー事務所及び国際ロータリー日本事務局経理室へFAXでご連絡下さい。
2. 新会員の会費について  
国際ロータリー細則第18条(18.040.2)比例人頭分担金に沿うため、地区の会費についても、在籍月数に応じた会費を前期分は12月中に、後期分は6月中にお振込み下さい。  
(例) 7月1日入会者は、6か月分。7月2日~8月1日入会者は5か月分。8月2日~9月1日入会者は4か月分。

2026-2027年度 国際ロータリー第2820地区

地区年間予定表（前期）

日	曜	7月	曜	8月	曜	9月	曜	10月	曜	11月	曜	12月
1	水	ガバナー・元・次期 ガバナー懇談会	土	茨城RE	火	ひたちなか	木	土 浦	日		火	ロータリー 研究会
2	木	クラブサポート ミーティング#1	日		水	土浦中央	金	玉 造	月		水	
3	金		月	岩 井	木	水戸好文	土	土浦南RAC30周年	火		木	
4	土		火	北茨城	金		日	親善野球大会	水	水戸西	金	
5	日	第1回諮問委員会	水		土		月		木	下 妻	土	米山学友世界大会
6	月		木	阿 見	日		火	日 立 クラブサポート ミーティング#2	金	鹿島臨海	日	
7	火		金	龍ヶ崎中央	月		水	常陸太田	土		月	
8	水		土		火	鉾 田	木		日		火	
9	木		日		水	日立北	金		月		水	
10	金		月		木	水戸東	土	つくばサンライズ	火		木	
11	土		火		金		日		水	高 萩	金	
12	日		水		土	RAC合同	月		木		土	
13	月		木		日		火	古河東	金		日	第3回AG・総括合同会議
14	火		金		月		水	つくばシティ	土		月	
15	水	水海道	土		火	竜ヶ崎	木	日立港	日		火	しもだて紫水
16	木	境	日		水		金		月		水	
17	金		月		木	鹿島中央	土		火	日立南	木	
18	土	R財団研究会	火		金	古 河	日		水	結 城	金	
19	日	青少年奉仕研究会	水	下 館	土		月		木	笠 間	土	第2回諮問委員会
20	月		木	波 崎	日		火	水 戸	金		日	
21	火	友 部	金	インターア外年次大会	月		水	石 岡	土	東海那珂RC40周年	月	
22	水	日立中央	土		火		木	那珂湊大洗	日		火	
23	木	那珂湊大洗合併式典	日	米山記念奨学会研究会	水		金		月		水	
24	金		月		木	取 手	土	END POLIO	火	土浦南	木	
25	土	奉仕P研究会	火		金	勝 田	日		水		金	
26	日		水	古河中央	土	第2回AG・総括合同会議 古河中央RC30周年	月		木	筑西きぬ	土	
27	月		木	つくば学園	日		火		金		日	
28	火		金	水戸南	月	牛 久	水	東海那珂	土		月	
29	水		土		火		木	石岡87	日	第1回会長・幹事会 地区大会	火	
30	木		日		水	大 子	金		月		水	
31	金		月				土	玉造RC50周年			木	

**2820地区ロータリー・楽しいロータリー例会 マイスター図鑑**

Rotary

PROFESSIONAL DEPT. 仕事の話、最新トレンド

極めた趣味・探求 趣味の極意、世界観

地域デザイン・まちづくり 地域活動、コミュニティ形成

しくじり・V字回復 失敗からの学び、成功への道

豊富な人材の多彩な卓話 ~楽しい例会づくり~

2026年7月から楽しい例会! さあ! はじまります! Enjoy Rotary!

1. クラブの例会を、いつもと違う、新鮮な卓話の例会へ
2. 多彩な極、仕事の話、人生のしくじり...多様なテーマ
3. クラブや分を超えた交流、例会で新しい交流と気づき

【卓話マイスター】とは...2820地区内の豊富な人材の多様な卓話登録制度です  
卓話者大募集! あなたの話しが、他クラブの彩りに!  
自薦・推薦 詳しくは、地区ウェブサイトへ

Rotary 2026-2027国際ロータリー第2820地区 クラブ奉仕委員会

## ガバナー事務所紹介

ガバナー	笠倉 勉	橋本 修男	藤澤 和茂
地区幹事	鷺谷 一彦	飯田 秀夫	片平 忠志
地区会計長	小倉 重則	安達 一博	飯村 卓生
ロータリーの友地区代表委員	糸川 秀樹	水柿 貴之	間々田涼平
地区大会実行委員長	滝田 宗浩	大吉 真琴	須藤 典保
地区副幹事	増渕 慎治	篠崎 栄一	福田 正博
	武藤 正浩	高田 昌明	月信編集委員長
	小島 信一	大山 晴夫	糸川 秀樹
	新井 誠	倉持 悦子	月信編集委員
	田中 啓樹	田中 邦明	江面 朝行
			吉野 公輔
			大曾根啓之
			霜村 正行
			事務局
			千葉 栄子

## 7月号編集後記

本年度のガバナー月信は、しもだて紫水ロータリークラブのガバナー月信編集委員会が作成に携わって参ります。至らぬ点も多いかと存じますが、精一杯頑張る所存ですので、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

笠倉ガバナーの地区スローガン「エンジョイ ロータリー!!! そしてスマートに…」の熱き思いを、会員の皆さまが読みやすく、閲覧できようように編集していきたいと考えています。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

(月信編集委員会 委員長 糸川 秀樹)